

PCソフトの操作競う国内大会「ワード」部門

# 藤沢さん(香川高専) 全国1位

学生がパソコンの操作技術を競う「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS) 日本大会」で、香川高専詫間キャンパスで学ぶ4年藤沢健太さん(18)が、普通専科で「ワード」の高校・高専・高等専修学校部門で頂点に輝き、プレゼンテーション用文書作成「ワーポイント」でも19位に入賞した。

## 「ワーポイント」も入賞

大会は、マイクロソフト「ス」の利用技術を証明する社のソフトウェア「オフィ」世界的な資格「MOS」の



表彰状を手に「さらに技術を磨きたい」と語る藤沢さん—三豊市詫間町、香川高専詫間キャンパス

取得を目指すことで、国際的に活躍できる人材を育成しようとして、2003年から実施している。今回は、13年度中のMOS合格者(約4万5千人)を対象に、学校の種別ごとに3部門に分かれ、ワード、ワーポイント、表計算「エクセル」について、操作性の確信や速さなどを基準に入賞者を決めた。

藤沢さんは、小学校高学年のとき、画面上にバランスよく表示される文字の美しさに感動し、パソコンにのめり込んだという。10時間以上もキーボードに触れている日もあるそうで、1分間に最大3000文字程度を打つことができるタイピング速度や幅広い操作方法を習得した。

藤沢さんは、米国で7月27〜30日(現地時間)に開かれる世界大会への出場を懸けた代表決定選考で惜しくも敗れたが、「1位になれてうれしい。これに満足せず、さらに技術を磨いていきたい」と話していた。